(1) 北山杉・丸太とは

(北山中川地域)を中心に北山杉が育てられた。

京の都へと磨き丸太として、室町時代から(^{茶室})や(^{数寄屋})に使われた。

(2) 仕立ての2種類

(^{大杉} 仕立て):主に(^{タルキ})に用いる材(長さ 3 m、末口直径 ³ cm)を生産する。

〔 _{単木} 仕立て):主に(^{床柱})に用いる丸太(長さ 3 m、末口直 10~12 cm)[·]密に植林し、

早くから強度の枝打ちを繰り返し、(^{通直完満} ・ ^{無節})の優良な材を育てる。

(3) 北山杉の歴史

(<u>急斜な山々の北山では平地</u>)が少なく、わずかな土地では、田畑よりも山林の資源を収穫する林業が発展した。

(<u>水が豊かで冷水</u>)の北山の里は杉の木の生育に適した。

(4) 北山杉の歴史

上桂川を利用した運搬

山国地域は平安京造営から木材生産と()で栄えた。

川で運べない中川地域は、都までの立地を活かした(**に付か価値)をつけた。

(5) 北山丸太の育林作業

天然乾燥(天日干し)

(7) 伐採、搬出 → (8) 皮むき、背割り → (7) 人口感想 → (1) 磨き作業

(6) 北山丸太の特徴

植栽本数 lhg 一般的な杉: (3000 本) 北山杉: (6000 本)

植栽密度が高く伸長成長を促す

(7)丸太の3種類

(天然出絞丸太)	(人造絞丸太)	(素丸太)		
(8)	北山丸太0	の5つの利	点まとめ				a			
①_	無節	_								
2_	通直完満									
3_	真円で美しい				3					
<u></u>	年輪がち密で硬 	Į۱۱								
⑤_	木肌が白色で光	台沢								
(9)	北山丸太?	を次世代~								
S4	年 京都府	存の木「	北山杉	٦						
5	こ人達が悪!	戦苦闘し、	(地域	性)や鳥	黒田の(伏上大杉)からし	ニント得て	を産み出	された
台杉や磨き丸太、特産である北山杉の継承を我々は次世代へ繋げていかなくてはならない。										